

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-3-2
男女共同参画の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 環境生活総務課 男女共同参画室長 原 圭子 電話番号 0852-22-5243

事務事業の名称	関係団体等との連携による男女共同参画推進事業	
目的	(1) 対象	関係団体等
	(2) 意図	互いに連携することでそれぞれの取組みをより効果的なものとし、社会のあらゆる分野における男女共同参画のより一層の推進を図る。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の推進に関する施策及び重要事項を調査審議し、意見を聴取するための審議会を開催する。 県と各団体の取組みに係る情報交換、意見交換を行い、今後の施策に生かすことを目的とした会議を開催する。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	固定的性別役割分担意識にとらわれない人の割合	目標値	75	74	76	78	80	%
	式・定義	県政世論調査	取組目標値						
			実績値	72	71	73.0			
			達成率	96.0	96.0	96.1	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	378	474
うち一般財源 (千円)	378	474

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・固定的性別役割分担意識にとらわれない人の割合は73%、平成28年度内閣府による全国調査数値54.3%。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・固定的性別役割分担意識にとらわれない人の割合は73%で目標に達していないが、平成26年度以降70%を上回っており、男女共同参画に対する理解は進んでいる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・男女共同参画への理解は進みつつあるが、一部の人たちの間には依然として固定的な性別役割分担意識が残っており、地域活動への参画も男性が主体となることが多い。
・食事のしたくやかたづけ、掃除などは依然として女性が担う仕事となっており、日常生活において男女共同参画が根付いているとはいえない。

②困っている状況が発生している「原因」

・県民の男女共同参画に関する概念の理解は進んでいるが、個々が日常生活において男女共同参画が実現できるような理解とはなっていない。

③原因を解消するための「課題」

・男女共同参画審議会における有識者や県民の方などの意見を施策に反映させる必要がある。
・引き続き、経済団体や企業との連携・協力により、個人や地域のみならず、企業・団体を対象とした啓発の機会を増やす必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・男女共同参画審議会における意見等を反映した施策を展開する。
・企業や団体等において男女共同参画の視点に基づいた自発的な取組みが進むよう、引き続き各会議において情報提供に努めるほか、関係団体等との協力・連携を深め、啓発講座等への積極的な参加や開催を働きかけていく。